



JARA NEWS

February 2017, No. 108

from
Japan Automotive Recyclers Alliance
www.jara.co.jp

Published by JARA Corporation
Tokyo Head Office: Shinawa Bldg. 1-2-2-7F,
Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo JAPAN 103-0027
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690

提携リビルトメーカーと懇話会開催



携を強めステップアップした内容で実施する計画。参加者からは「さらに技術的に深掘りした内容を受講したい」との意見が多数寄せられたことから、専門知識の習得を進めることで顧客対応力を強化していく方針だ。

◆提携リビルトメーカーと懇話会開催

JARAは19日、東京都中央区の鉄鋼会館で「第4回RP・GP部品提供会社様との懇話会」を開催した。提携リビルトメーカーと株式会社JARAの執行部ら34人が参加。2016年の販売実績を振り返るとともに、今期の販売目標や販促支援策などについて意見を交換した。

北島社長は「忌憚（きたん）のない意見を頂戴し、新しい提案もいただきながら、今年一年を飛躍の年にしたい」と挨拶した。

(日刊自動車新聞1月26日)

日本自動車リサイクル部品協議会会長に栗原氏、ELV機構と密に連絡

日本自動車リサイクル部品協議会(リ協)は12月21日、第6回定時社員総会を開催し、新役員体制を決定した。会長には自動車補修部品研究会の栗原裕之会長が就任。副会長にはJARAグループの今井雄治会長、NGP日本自動車リサイクル事業共同組合の佐藤幸雄理事長、リビルド工業会全国連合会の深澤広司会長が就いた。

同日、記者会見に臨んだ栗原新会長は「歴史ある会で大役を仰せつかり責任を感じている。在庫車両の減少や素材の低迷などリサイクル業界の課題は多いが業界を盛



栗原新会長(右)と清水信夫前会長(左)

JARA、17年リビルト部品仕入れ目標 訪問活動の強化で10%増

JARA(日本自動車リサイクラーズ・アライアンス、北島宗尚社長、東京都中央区)は、2017年のリビルトパーツ(RP)・社外新品部品(GP)の仕入れ目標を前年比10%増に設定した。

リビルトパーツメーカーとの関係強化を進めるほか、JARA受注センターでの販路拡大にも取り組む。年間を通じた販促キャンペーンや技術講習会なども展開し、昨年を上回る仕入れ実績の必達を目指す。

このほど開催した「第4回RP・GP部品提供会社様との懇話会」で表明した。昨年は仕入実績目標115%に対し111%と未達だった。JARAは「キャンペーンの打ち出し時期が遅かったことなどが反省点」と見ており、今年はその反省も踏まえ、各種施策を強化する計画だ。

RP、GPメーカーとの関係強化では専任スタッフを配置し、訪問活動を積極化するほか、事前に決めた年間スケジュールに沿ったブロック例会の開催も検討する。また、JARAのリサイクルパーツネットワーク「ATRS(オートモビルトータルリサイクルシステム)」会員の実績を底上げすることを目的にシステム説明会などの場を活用した交流を強化する。

JARA受注センターでの販路拡大については、既存取引先へのプレゼン促進など目標値を決めて取り組む方針だ。販促支援策では7回のキャンペーンを予定している。また、日本自動車整備振興会連合会が運営する情報提供サービス「ファイネス」へバナー広告を掲載しJARAの認知度向上に取り組むほか、自社ホームページのリニューアルも行い、受注促進につながる流れを作りたい考えだ。

技術講習会はRP、GPメーカーとの連

り上げる活動に取り組みたい」と抱負を述べた。

その上で「各業界団体は会員の減少などに直面している。これまでより協は部品をメインに、例えば日本ELVリサイクル機構は解体をメインに取り組んできた。今後は互いが密になって行動していく必要がある。業界を守るために連携を強化しながら行動していきたい」と強調した。

リ協は今期のテーマとして「品質・CO2削減の見える化」を推進を掲げた。また、日本損害保険協会と日本自動車整備振興会連合会、日本中古自動車販売協会連合会、日本自動車車体整備協同組合連合会が構成する「自動車リサイクル部品活用推進会議」での活動も活発化する計画だ。

リ協加盟会員を対象にした市場規模調査も継続して実施する。今期は内容を拡充しリサイクル部品市場の実態把握に取り組む。

(日刊自動車新聞1月5日)

CO2削減数値(JARAシステム)

リユースパーツ使用によるCO2削減効果
参考値 平成28年12月

2,891t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA(ライフ・サイクル・アセスメント)の考え方にに基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。



「ありがとう」を
たくさんもらえる会社へ
<http://www.jara.co.jp/>



世界が注視するトランプ大統領

米トランプ新政権が始動、目を凝らす自動車業界

米国でトランプ新政権が20日、始動した。就任前から過激な発言を繰り返して、企業投資に口先介入した異端の大統領。世界は米の通商や環境、外交などの政策がどう変わるか目を凝らす。

◆NAFTA見直し必至

産業界がまず注視するのは通商政策だ。ウィルバー・ロス商務長官は承認公聴会で北米自由貿易協定（NAFTA）の再交渉をカナダ、メキシコに通知する方針を表明するとともに、環太平洋経済連携協定（TPP）についても「米国の

自動車産業に不利な内容」と改めて批判した。

トランプ大統領が選挙戦で主張した高関税や「国境税」は不透明だが、NAFTAの優遇を受けられる「原産地規則」が厳しくなれば、自動車業界も域内生産などの対応を迫られる。各社は「NAFTAが変更されれば（対応を）調整する」（日産自動車のカルロス・ゴーン社長）と成り行きを注視する。TPPの脱退方針も痛手だ。日本政府は20日、TPPの承認を閣議決定し、事務局を務めるニュージーランドに通知した。経済産業省の幹部は「TPPの重要性を今後も米国に言い続ける」と話す。ロス長官が言及した2国間協定は原産地規則の壁が立ちほだかり「純日本産の完成車しか関税優遇が認められなくなりかねない」（同）からだ。

◆パリ協定には残留か

地球温暖化対策も停滞する懸念が強まっている。トランプ大統領は環境保護局（EPA）長官など主要3閣僚に地球温暖化問題に懐疑的な人材を起用した。

ただ、大統領選時に言明したパリ協定からの離脱はなさそう。年末に米国の環境系シンクタンクらと意見交換した環境省の幹部は「トランプ大統領はパリ協定の価値に気づき、離脱よりも取引材料に

する公算が大きいのではないかと見る。

しかし、仮に米国がパリ協定の枠組みにとどまるとしても、積極的な関与や資金拠出を渋り、協定の実効性が低下するおそれもある。EPAが米系自動車メーカーに配慮して燃費規制を緩めても温室効果ガスの排出は増える。

一方で、デュポンなど600以上の米企業や団体は今年10日、温暖化対策の強化を求める要望書を公表。トランプ政権に対応を迫るなどの動きも出ている。環境省幹部は「米国の取り組みは重層的だ。連邦政府が後ろ向きになっても、カリフォルニア州など環境規制を強化する動きは変わらないだろう」と話す。

ロシアに接近し、中国に厳しい視線を送るトランプ大統領の外交にも世界や日本が翻弄（ほんろう）される可能性がある。経産省幹部は「米中露の関係がめまぐるしく変化すれば日本は振り回されかねない」と身構える。20日の大統領就任式では民主党議員が欠席したり、多くの抗議デモが予定されるなど波乱も予感させる。米国内の亀裂を修復できないまま「米国第一」を掲げて走り出したトランプ新政権を世界が注視する。

（日刊自動車新聞1月21日）

16年ELV引取台数、輸出に押され2年連続で減少

使用済み自動車（ELV）引取台数の減少に歯止めがかからない。自動車リサイクル促進センター（JARC）がまとめた2016年暦年実績（確報）は、前年比5.0%減の304万4205台となった。300万台は超えたものの前年割れは2年連続。台数規模は自動車リサイクル法が始まった05年と東日本大震災の影響を受けた11年を除くと過去最低となる。昨年は自動車リサイクル関連事業者の廃業、倒産が相次いだ。タマ不足のみならず部品輸送費や資源価格、廃車流通経路の変化など様々な課題は今後も続く見通しで、関連事業者には難しい経営の舵取りが引き続き求められることになりそうだ。

ELV引取台数は、新車販売の低迷による解体車の発生減や旺盛な外需に伴う中古車輸出を背景に減少傾向が続いている。16年実績をピーク時の10年実績（392万7524台）と比較すると約88万3千台減少している状況だ。16年の単月実績で前年を上回ったのは9、11、12月の3回のみ。9月までは11カ月連続でマイナス実績が続いていた。

とりわけ中古車輸出の影響が大きい。

16年の輸出抹消登録台数は131万4308台。前年比では8.6%減となっているものの、ELVの相当数が海外に流れていることになる。「本来、日本でELVになるはずの車両が輸出されており、引取車両が輸出に先食いされている」（JARC）状況だ。輸出車両の平均車齢が9～10年に対して、ELVは14.9歳。つまり「来年以降もELV発生台数の減少が続く」（同）ことになる。

16年度実績については306万台レベルとなる見通し。JARCは当初「消費増税が予定通り実施されれば330万台程度、増税がなければ11万台ほど押し下げられる」と予想していたが、実際はさらに下回ることが予想される。17年度についても同水準を見込んでいる。12月単月のELV引取台数は前年同月比1.0%増の25万1866台だった。

（日刊自動車新聞1月19日）

経済産業省と公正取引委員会ビッグデータ・競争政策有識者検討会を設置

ビッグデータを競争政策上でどう位置づけるかの議論が国内でも始まった。経済産業省、公正取引委員会がそれぞれ有識者による検討会を立ち上げ、議論を始めた。ビッグデータと競争政策をめぐる議論はOECD（経済協力開発機構）や独仏の競争当局なども始めている。自動車業界でもコネクテッドカーやライドシェアなどデータが企業や商品の競争力を左右する局面にさしかりつつある。議論の成り行きが注目される。

経産省は「第4次革命に向けた競争政策のあり方に関する研究会」を設置。公取委も「データと競争政策に関する検討会」の初会合を20日に開く。それぞれ月1回のペースで議論を重ね、夏前に報告書をまとめる予定だ。

両検討会が焦点を当てるのはビッグ



ビッグデータは新たな付加価値を生みつつある（イメージ）

データの扱いだ。スマホの普及やIoT技術の進展で爆発的に増加するデータは新たな付加価値を生む半面、プラットフォームと呼ばれる事業基盤を確立した企業の市場支配力が強くなり、市場への参入や競合相手を排除するなど競争政策上の懸念が高まっている。OECDはさらに「事業者が共通の価格決定アルゴリズム（計算手順）を使えば、市場データに基づいた“デジタルカルテル”が可能となる」との懸念を示した。独仏の競争当局も共同レポートのなかで「データの囲い込みを取り締まるには、より詳細な検証が必要だ」と指摘した。このため経産省は、ビッグデータを駆使したイノベーション（技術革新）を促すうえで公正な競争環境をどう整えるかを主に議論する。一方の公取委は、独占禁止法の執行面から問題点を整理し、対策を練る。

自動車業界でも、車両挙動情報を渋滞状況の分析や事故回避に役立てたり、故障を予測して整備を推奨するなどの動きがすでに広がりつつある。また、自動運転やライドシェアなど顧客と車両のビッグデータが欠かせない。今後もこうした新事業が増えると思込まれ、競争政策の見直しがどう進むか注目される。

（日刊自動車新聞1月19日）



今後も減少傾向が続く見通し

KOBELCO

We Save You Fuel
Achieving a Low-Carbon Society

コベルコが提案する 新しい考え方

マルチ解体機

使用済み自動車の解体以外にも廃家電などの金属製機器の解体およびさまざまな複合廃棄物の解体・分別作業が可能です。

自動車解体機

使用済み自動車に含まれる素材の分別作業がスピーディーに行えて希少金属資源の回収が可能です。



SK135SRD



SK210D

コベルコ建機株式会社
www.kobelco-kenki.co.jp/

For Japan

新构想源于神钢

多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以拆除废家电等金属制机器以及各种复合废弃物品的拆除、分类作业。

SK210D



汽车拆除机

可快速进行报废汽车内素材的分类作业，能够回收稀金属资源。

SK210D



成都神钢工程机械(集团)有限公司
www.kobelco-jianji.com/

For China

新构想源于神钢

多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以拆除废家电等金属制机器，以及进行各种复合废弃物品的拆除、分类作业。

SK200



汽车拆除机

可快速进行报废汽车内部素材的分类作业，得以回收稀有金属资源。

SK200



FAIR FRIEND ENTERPRISE CO.,LTD.
www.ffg-tw.com/

For Taiwan

새로운 발상은 KOBELCO에서

멀티 해체기

응도 폐기된 자동차의 해체 외에도 폐가전제품 등 금속제 기기의 해체 및 다양한 복합 폐기물의 해체·분리작업이 가능합니다.



SK135SR

(주)삼정건설기계
www.samjung-kenki.co.kr/

For Korea

New ideas come from KOBELCO

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.

SK210D



KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.
www.kobelco-usa.com/

For North America

New ideas come from KOBELCO

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.



SK135SRD

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY AUSTRALIA PTY LTD
www.kobelco.com.au/

For Australia

New ideas come from KOBELCO

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.

SK210D



Car-Dismantling Machine

Car-Dismantling Machine efficiently separates and sorts raw materials in end-of-life vehicles and is able to recover rare earth metals.

SK210D



KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.
www.kobelco-europe.com/

For Europe